



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年1月30日

上場会社名 コネクシオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9422 URL <https://www.conexio.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 裕雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部門長代行 (氏名) 神野 憲昭 (TEL) 03-5331-3702
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	191,715	0.3	7,589	11.2	7,659	11.2	5,059	11.9
29年3月期第3四半期	191,215	△5.8	6,823	9.4	6,886	9.1	4,520	15.1
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年3月期第3四半期	113.10		—					
29年3月期第3四半期	101.05		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	102,790	36,488	35.5
29年3月期	95,254	34,016	35.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 36,488百万円 29年3月期 34,016百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	26.00	—	30.00	56.00
30年3月期	—	30.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	35.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期年間配当金の内訳 普通配当 60円00銭 記念配当 5円00銭 (設立20周年記念配当)

3. 平成30年3月期の業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	252,500	△2.9	10,000	0.2	10,100	0.5	6,500	0.5	145.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期3Q	44,737,938株	29年3月期	55,923,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期3Q	49株	29年3月期	11,185,062株
----------	-----	--------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期3Q	44,737,926株	29年3月期3Q	44,737,938株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調で推移しましたが、海外経済の不確実性などにより依然として先行き不透明な状況にあります。

当社が事業活動を展開する携帯電話市場におきましては、通信キャリア大手各社がお客様囲い込みを目指し、端末価格を絡めた新たな料金プランやお客様の利用状況に応じた料金プランを展開するなど、格安スマホへの対抗策を打ち出しております。また、キャリア認定ショップにおける営業時間の短縮や月1回の定休日および年末年始の休業を推奨するなど、販売員の労働環境改善へ向けた取組みが進められました。

このような事業環境において、当社は、タブレット販売や従来型の携帯電話からスマートフォンへの買替えを促進した結果、販売台数は堅調に推移し、195万台（前年同期比0.9%増）となりました。一部の端末価格の見直しによる収益改善に加えて、法人向けソリューションサービスの販売好調などにより収益は伸長しました。また、キャリア認定ショップの店舗改装や、法人向けソリューションサービスに関わる人員増強ならびに設備投資を進めました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,917億15百万円（同0.3%増）、営業利益75億89百万円（同11.2%増）、経常利益76億59百万円（同11.2%増）、四半期純利益50億59百万円（同11.9%増）と、各利益項目の進捗は順調に推移いたしました。

◆業 績

(単位：百万円)

区分	平成29年3月期 第3四半期 累計期間	平成30年3月期 第3四半期 累計期間	増減率 (%)
売上高	191,215	191,715	0.3
営業利益	6,823	7,589	11.2
経常利益	6,886	7,659	11.2
四半期純利益	4,520	5,059	11.9

セグメントの業績は、次のとおりであります。

コンシューマ事業

「コンシューマ事業」は、コンシューマ顧客に対する携帯電話等の通信サービスの契約取次、アフターサービスの提供及び携帯電話端末等の販売、スマートフォン利用のお客様ニーズに応えリレーションを強化するためのポータルサイト「nexi（ネクシィ）」の運営を行っております。

コンシューマ事業につきましては、タブレット販売やスマートフォンへの買替えが伸長し、販売は堅調に推移しました。キャリア認定ショップにおいては、「また来たくなる」魅力あるショップの実現に向けた取組みとして、スマホ教室開催を全国の直営店に展開しお客様満足度の向上に努めました。また、新たな取組みとしてスタートさせた当社独自サービス「nexiplus」はコンテンツ拡充や新機能追加により、新規会員獲得と継続利用の促進に注力しました。さらに、販売員などの採用を強化するとともに店舗の改装を積極的に推進しました。

この結果、売上高は1,775億86百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は92億59百万円（同13.9%増）となりました。

◆業績

（単位：百万円）

区分	平成29年3月期 第3四半期 累計期間	平成30年3月期 第3四半期 累計期間	増減率（%）
売上高	179,248	177,586	△0.9
営業利益	8,131	9,259	13.9

法人事業

「法人事業」は、法人顧客に対する携帯電話等の通信サービスの契約取次、アフターサービスの提供及び携帯電話端末等の販売を中心としつつ、スマートフォンを利用した法人向けソリューションサービス、コンビニエンスストアに対するプリペイドカードの提供及びIoTソリューションの提供を行っております。

法人事業につきましては、企業のスマートフォン導入が広がり始め、モバイルヘルプデスクや端末設定サービス（キッティング）の取引拡大に伴い体制強化を進めました。一方で、プリペイドカードの販売は、取引条件の見直しにより収益が減少しました。IoTソリューションについては、実証実験による導入支援に加えて、パートナー企業と連携し本格的な量産受注へ繋げるなど、顧客開拓を着実に進めております。

この結果、売上高は141億29百万円（前年同期比18.1%増）、営業利益は12億82百万円（同11.4%減）となりました。

◆業績

（単位：百万円）

区分	平成29年3月期 第3四半期 累計期間	平成30年3月期 第3四半期 累計期間	増減率（%）
売上高	11,967	14,129	18.1
営業利益	1,448	1,282	△11.4

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は前事業年度末に比べて77億62百万円増加し、820億37百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金の増加58億56百万円、商品及び製品の増加40億74百万円、現金及び預金の減少18億64百万円等によります。

固定資産は前事業年度末に比べて2億26百万円減少し、207億52百万円となりました。これは、キャリアショップ運営権の減少4億99百万円、投資その他の資産の増加2億28百万円等によります。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べて75億35百万円増加し、1,027億90百万円となりました。

(負債)

流動負債は前事業年度末に比べて49億26百万円増加し、592億49百万円となりました。これは、未払代理店手数料の増加33億28百万円、短期借入金の増加28億円、賞与引当金の減少15億26百万円等によります。

固定負債は前事業年度末に比べて1億37百万円増加し、70億52百万円となりました。これは、退職給付引当金の増加2億84百万円、その他の減少2億14百万円等によります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて50億63百万円増加し、663億1百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前事業年度末に比べて24億72百万円増加し、364億88百万円となりました。これは、四半期純利益の計上による増加50億59百万円、配当金の支払による減少26億84百万円等によります。

この結果、自己資本比率は35.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度における当第3四半期累計期間の進捗率は、売上高75.9%、営業利益75.9%、経常利益75.8%、四半期純利益77.8%となりました。現段階で平成29年4月28日に発表した通期の業績予想に変更はございません。今後何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,879	3,015
受取手形及び売掛金	45,343	51,199
商品及び製品	8,301	12,375
未収入金	13,325	12,735
預け金	134	262
その他	2,302	2,460
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	74,275	82,037
固定資産		
有形固定資産	4,170	4,339
無形固定資産		
のれん	1,745	1,652
キャリアショップ運営権	10,326	9,826
その他	400	369
無形固定資産合計	12,472	11,849
投資その他の資産	4,335	4,563
固定資産合計	20,978	20,752
資産合計	95,254	102,790
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,280	24,504
未払代理店手数料	8,395	11,723
短期借入金	—	2,800
未払金	11,558	11,813
未払法人税等	2,122	1,398
賞与引当金	3,324	1,797
役員賞与引当金	30	13
その他	4,611	5,198
流動負債合計	54,322	59,249
固定負債		
退職給付引当金	4,554	4,838
資産除去債務	416	484
その他	1,943	1,729
固定負債合計	6,914	7,052
負債合計	61,237	66,301

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,778	2,778
資本剰余金	9,779	585
利益剰余金	30,538	32,913
自己株式	△9,194	△0
株主資本合計	33,902	36,277
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	114	211
評価・換算差額等合計	114	211
純資産合計	34,016	36,488
負債純資産合計	95,254	102,790

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
売上高	191,215	191,715
売上原価	156,593	154,754
売上総利益	34,621	36,961
販売費及び一般管理費	27,797	29,371
営業利益	6,823	7,589
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	2
店舗移転等支援金収入	47	76
貸倒引当金戻入額	7	—
その他	36	38
営業外収益合計	102	117
営業外費用		
支払利息	7	4
固定資産除売却損	18	31
不動産賃貸費用	6	4
その他	7	5
営業外費用合計	40	47
経常利益	6,886	7,659
特別利益		
固定資産売却益	0	1
その他	—	0
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除売却損	17	17
減損損失	13	34
店舗閉鎖損失	47	38
特別損失合計	78	90
税引前四半期純利益	6,807	7,570
法人税、住民税及び事業税	1,798	2,661
法人税等調整額	489	△150
法人税等合計	2,287	2,510
四半期純利益	4,520	5,059

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の消却及び資本準備金の額の減少)

当社は、平成29年4月28日開催の取締役会において、平成29年6月27日開催の第20期定時株主総会に、「資本準備金の額の減少の件」を付議することならびに本議案が承認可決されることを条件として、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議いたしました。「資本準備金の額の減少の件」に係る議案は、同定時株主総会で承認可決されたため、平成29年7月3日付でその効力が発生しており、同日付で自己株式11,185,062株の消却を行っております。これにより、資本剰余金及び自己株式がそれぞれ9,194百万円減少しております。なお、株主資本の合計金額には影響ありません。

(当四半期累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、携帯電話等の通信サービスの契約取次、契約者へのアフターサービスの提供及び携帯電話端末等の販売を行う、販売代理店事業を基幹事業としています。

したがって、商品販売及びサービス提供を行う顧客の属性から、「コンシューマ事業」、「法人事業」を報告セグメントとしております。

「コンシューマ事業」は、コンシューマ顧客に対する携帯電話等の通信サービスの契約取次、アフターサービスの提供及び携帯電話端末等の販売、スマートフォン利用のお客様ニーズに応えリレーションを強化するためのポータルサイト「nexi（ネクシイ）」の運営を行っております。

「法人事業」は、法人顧客に対する携帯電話等の通信サービスの契約取次、アフターサービスの提供及び携帯電話端末等の販売を中心としつつ、スマートフォンを利用した法人向けソリューションサービス、コンビニエンスストアに対するプリペイドカードの提供及びIoTソリューションの提供を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	コンシューマ事業	法人事業	計		
売上高	177,586	14,129	191,715	—	191,715
セグメント利益	9,259	1,282	10,542	△2,953	7,589

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,953百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。